

# JPM・BRICS5・ファンド

追加型投信／海外／株式

[ 販売用資料 | 2011.4 ]



JPM・BRICS5・ファンド（以下、「当ファンド」または「ファンド」といいます。）は、外国の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

※ファンドのリスクについての詳細は、中面の「ファンドの主なリスク」をご確認ください。

お申込み・目論見書の提供場所は

**岡三証券**

設定・運用は

**JPモルガン・アセット・マネジメント**

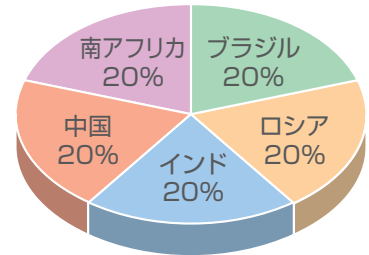
## 1 ファンドの特徴

### ① BRICS5カ国の株式に投資を行います。

- ファンドはマザーファンドを通じて、主としてBRICS5（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）のいずれかで上場または取引されている株式\*に投資することによって信託財産の成長を目指します。
- 基本資産配分はBRICS5カ国20%ずつとしますが、±10%の範囲内で調整を行います。

\*投資にあたっては、直接投資に加えて預託証券を用いた投資も行います。

マザーファンドの基本資産配分



### ② 「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループのグローバルなネットワークを活用し、運用を行います。

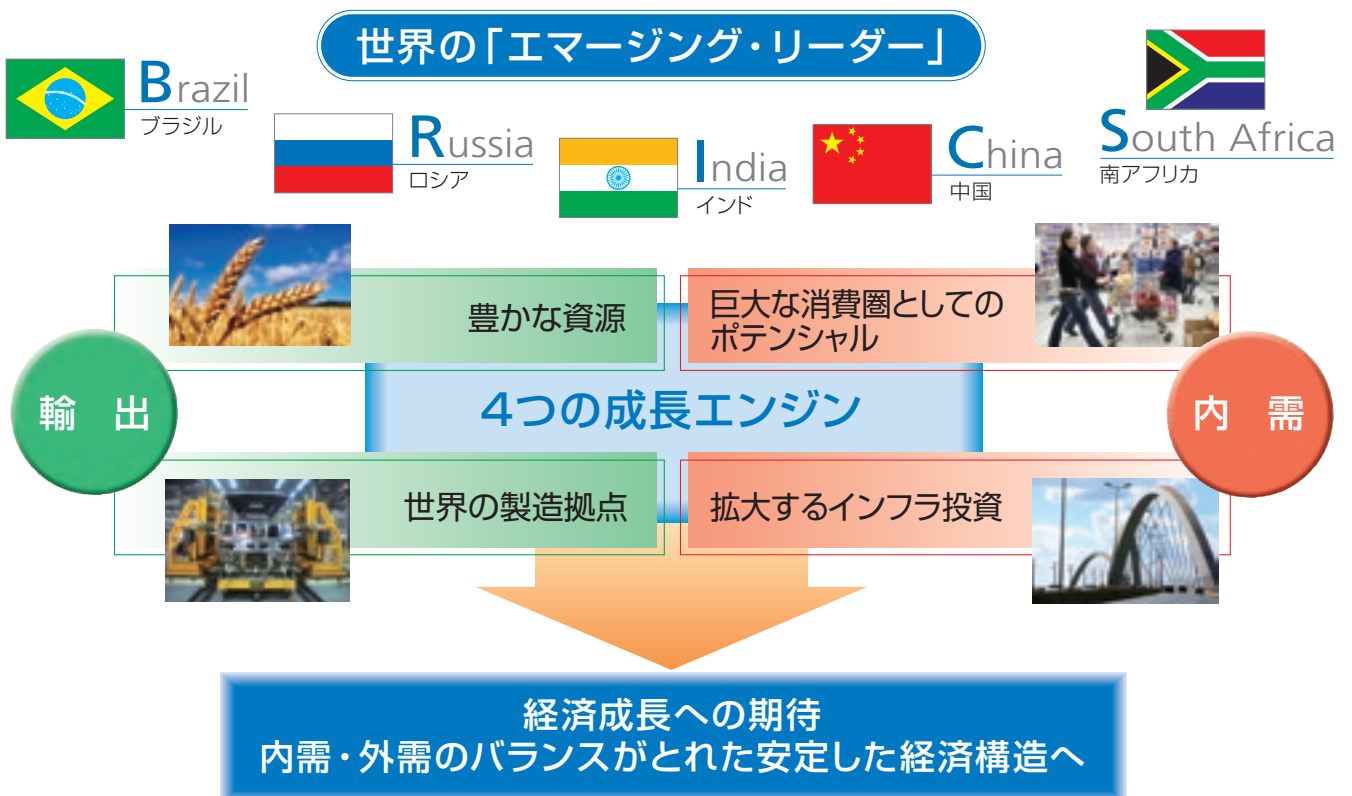
- JPモルガン・アセット・マネジメント (UK) リミテッド (英国法人) に運用を委託します。

\*JPモルガン・アセット・マネジメント (UK) リミテッドおよび委託会社は、「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの一員です。「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループとは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーの傘下であり、直接または間接的に資本関係のある運用会社を総称するものです。

### ③ 原則として、為替ヘッジは行いません。

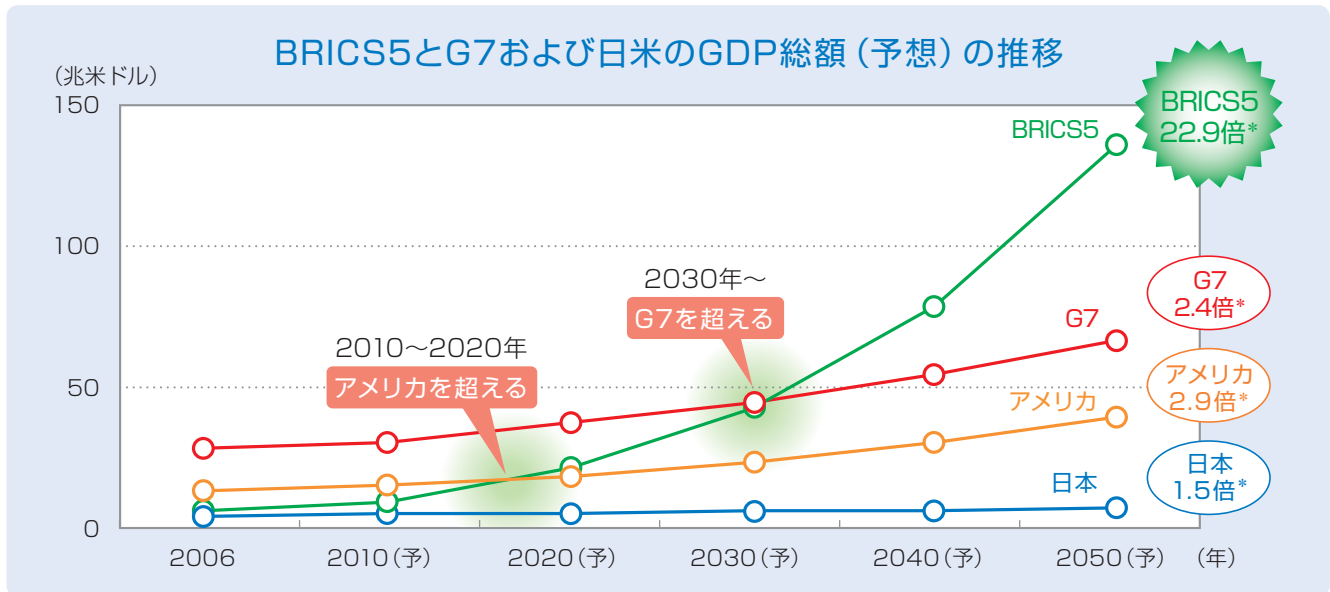
## 2 BRICS5とは

- ❖ 当ファンドでBRICS5とは、ブラジル、ロシア、インド、中国に南アフリカを加えた中長期的に高い経済成長が期待される新興5カ国を指します。
- ❖ BRICS5は広い国土に豊かな資源が存在します。また多くの人口を抱えることから世界の製造拠点として、さらに巨大な消費圏として、その可能性が注目されています。



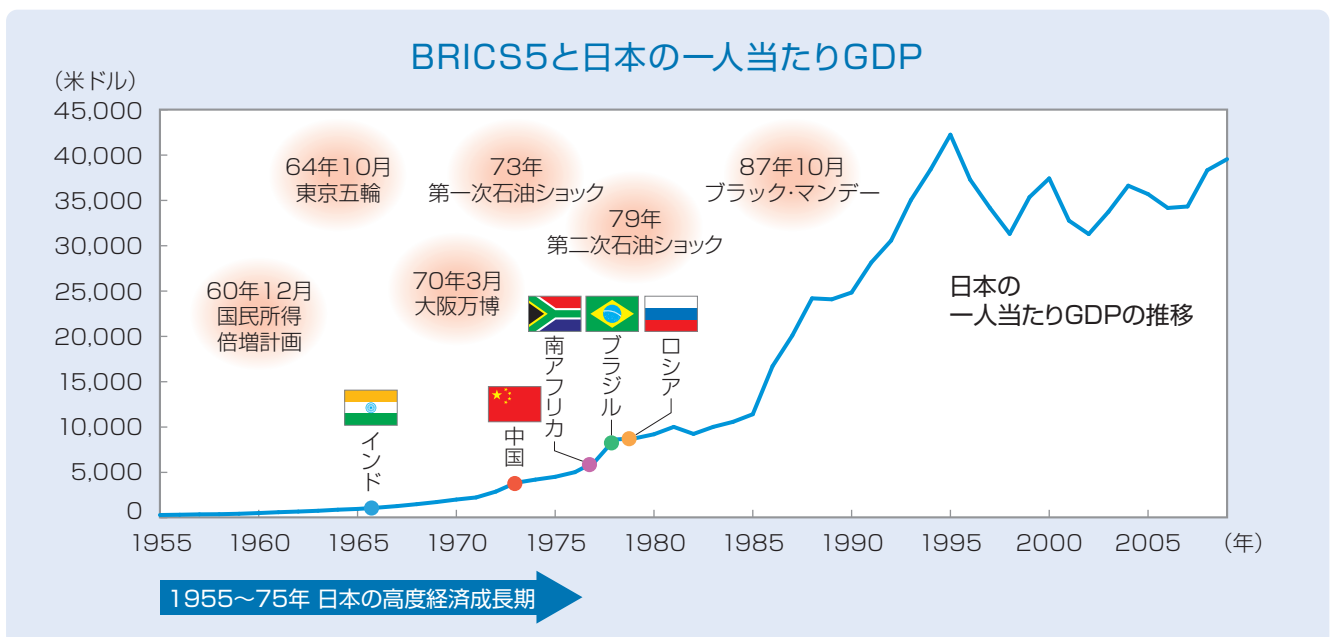
## 先進国を凌駕するBRICS5の経済規模

BRICS5は、今後も早いスピードで経済規模を拡大すると考えられており、2050年には現在の経済大国であるG7（アメリカ、日本、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ）を凌駕する経済規模になると予想されています。こうした成長力がBRICS5の最大の魅力です。



\*2006年と2050年(予想)を比較して何倍になるかを記載しております。  
上記グラフは、下記レポート等に基づきJPモルガン・アセット・マネジメント(株)が作成したものです。将来の各国・地域のGDP総額を保証するものではありません。  
データ出所: ゴールドマン・サックス(2007年3月28日レポート)、BRICS経済研究所

BRICS5の一人当たりGDPの水準は、過去の日本における高度経済成長期～1985年にあることがわかります。



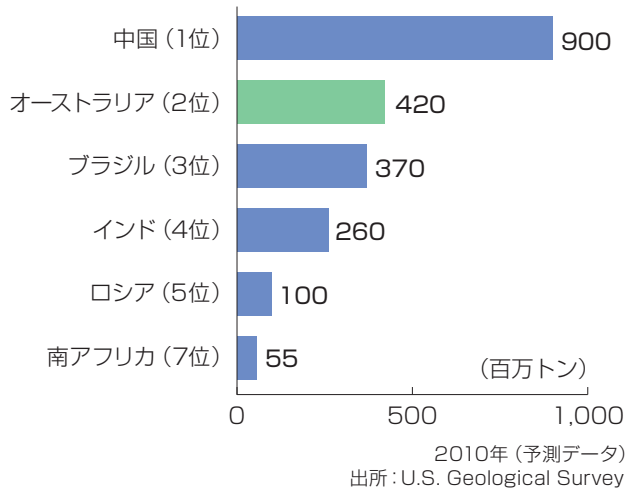
上記グラフは、日本の過去の一人あたりGDP推移(1955年～2009年)に、BRICS5各国の一人あたりGDP(2009年現在、一部予測を含む)と同水準の時期の出来事を重ねたものです。したがって将来のBRICS5各国の一人あたりGDPの推移を示唆するものではありません。

## 4つの成長エンジン 豊かな資源

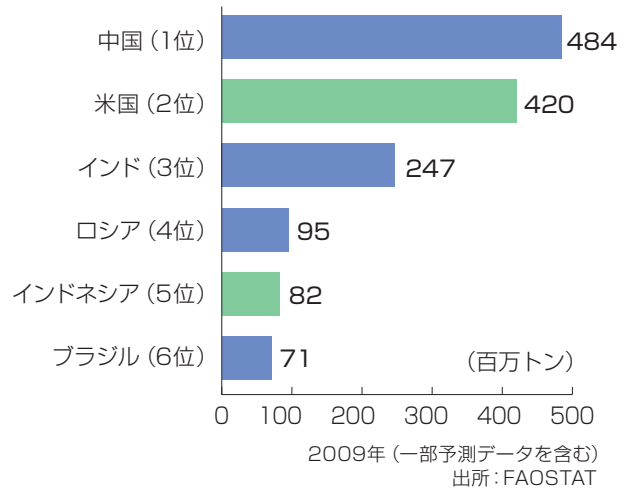
BRICS5は広い国土を有し、豊かな資源が存在します。鉱物資源のほか、エネルギー資源や農畜産物なども多く産出、生産されています。



### 世界の鉄鉱石生産高ランキング



### 世界の穀物生産量ランキング



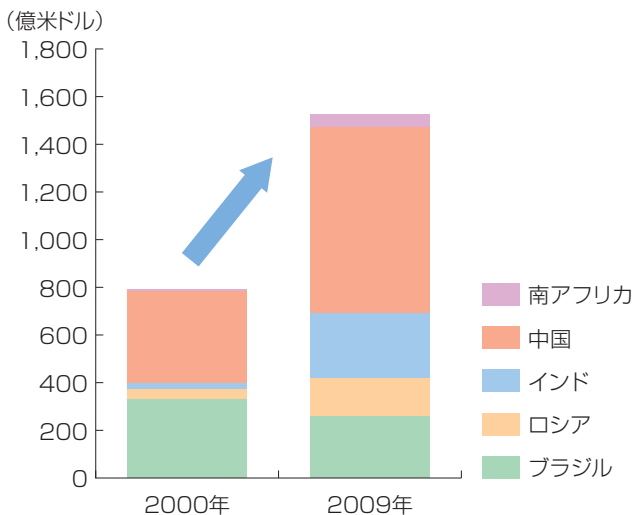
## 4つの成長エンジン 世界の製造拠点

BRICS5には製造業を中心に多くの先進国の企業が、豊富な労働力と低い製造コストを求め進出しています。各国がインフラ整備を加速させていることから、今後も海外からの投資の拡大が期待できます。



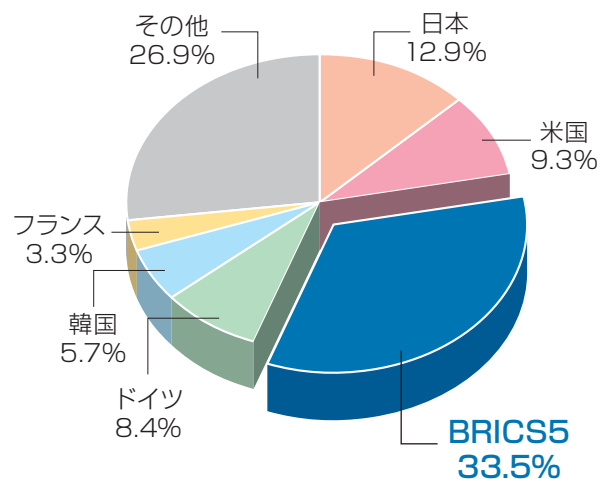
### ◎BRICS5に対する海外からの投資は大幅増

#### BRICS5の直接投資受入額推移



### ◎世界の製造拠点として高まる存在感

#### 世界の自動車生産台数シェア



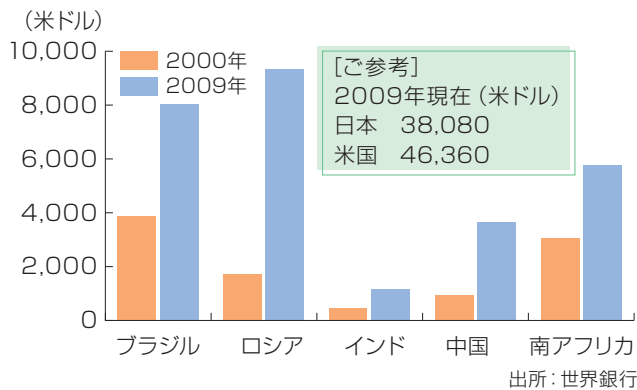
## 4つの成長エンジン 巨大な消費圏としてのポテンシャル



BRICS5の人口は現在、世界の人口の約4割を占め、若年層も豊富です。また、高い経済成長に伴い、個人の所得水準が向上していることから、労働市場のみならず消費市場としても魅力的です。

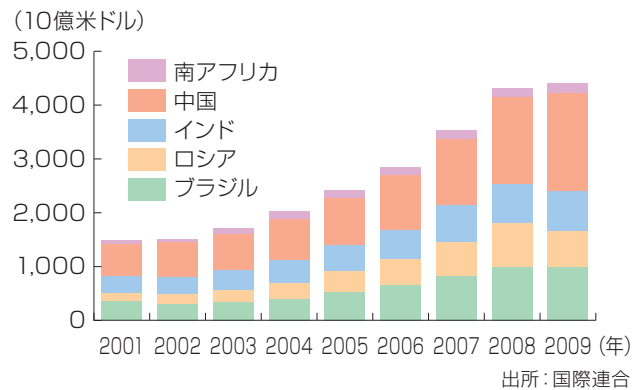
### ◎高い経済成長を背景に、所得水準が向上

#### BRICS5の1人当たり国民総所得



### ◎所得水準の向上により、消費が拡大

#### BRICS5の家計消費支出の推移



## 4つの成長エンジン 拡大するインフラ投資



世界経済において存在感を増しているBRICS5ですが、電力などのインフラ整備は先進国に比べ遅れています。しかし、持続的な経済成長に不可欠なインフラ整備が実施・計画されています。

### ◎BRICS5では、経済規模に比べて「インフラ整備」が追いついていない状況

#### GDPとインフラ整備ランキング

GDPランキング*	インフラ整備ランキング**
1位 米国	1位 香港
2位 中国	2位 ドイツ
3位 日本	...
4位 ドイツ	4位 フランス
5位 フランス	...
6位 イギリス	...
...	...
8位 ブラジル	8位 イギリス
...	...
10位 ロシア	...
11位 インド	...
...	...
...	13位 日本
...	...
...	25位 米国
...	...
27位 南アフリカ	...
...	...
...	47位 ロシア
...	...
...	50位 中国
...	...
...	62位 ブラジル
...	63位 南アフリカ
...	...
...	86位 インド

■ 新興国  
■ 先進国

### ◎BRICS5では、遅れ気味となっている各種のインフラ整備が計画されています。

#### BRICS5の主なインフラ関連計画

	プロジェクト	主な対象	金額*	完了予定
ブラジル	リオデジャネイロ夏季オリンピック	道路、鉄道、空港等	1.2兆円	2016年
	高速鉄道プロジェクト	鉄道	1.7兆円	2016年
ロシア	シベリア鉄道近代化	鉄道	26.6兆円	2030年
	ソチ冬季オリンピック	鉄道、空港、ホテル等	1.0兆円	2014年
インド	デリー-ムンバイ間産業大動脈構想	鉄道	7.3兆円	2013年
	ウルトラ・メガ・パワー・プロジェクト	電力	2.6兆円	2012年
中国	中長期鉄道整備計画	鉄道	61.6兆円	2020年
	国家高速道路網計画	道路	27.1兆円	2020年
南アフリカ	電力公社インフラ整備計画	電力	1.8兆円	2012年

出所：BRICS経済研究所および各種資料よりJPモルガン・アセット・マネジメント(株)作成  
\*各種資料記載の外貨建て計画金額を2010年12月末時点の為替相場で円換算。

上記は過去の時点における計画に基づくものであり、将来計画が変更される場合があります。また、将来の実現を保証するものではありません。

\*2010年の名目GDPランキング(予測)

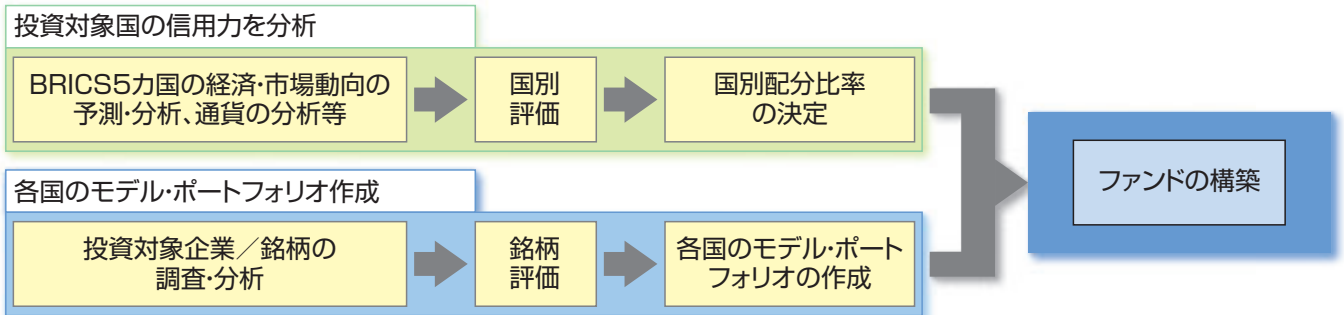
出所：IMF World Economic Outlook Database, October 2010

\*\*道路や空港などの基礎的社会的基盤や、通信関連投資、固定電話の普及率等をもとに社会基盤の充実度をランキングしたものです。

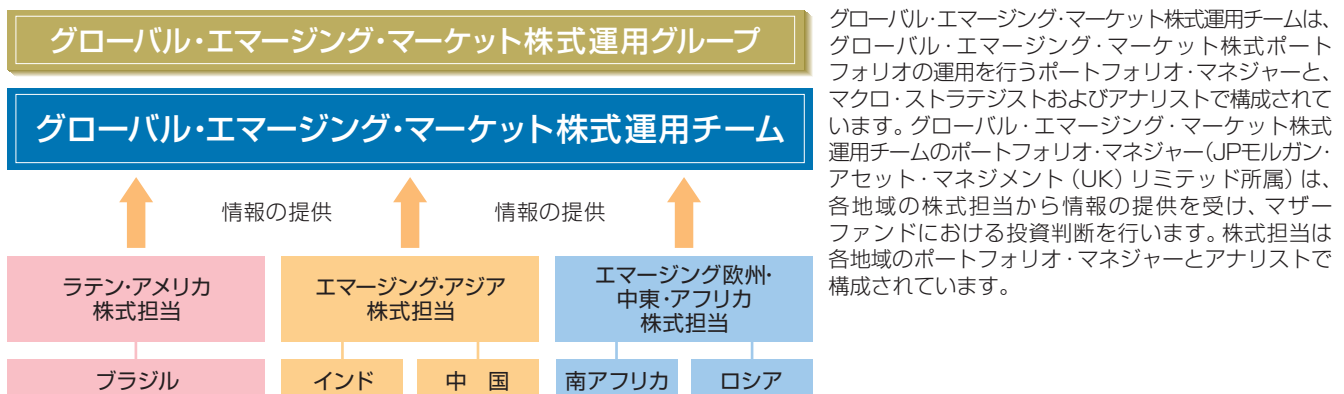
出所：The Global Competitiveness Report 2010-2011  
World Economic Forum

## 運用プロセス

マザーファンドにおける運用のプロセスは次のとおりです。  
(なお、資金動向や市況動向により、次のような運用ができない場合もあります。)



## 運用体制



グローバル・エマージング・マーケット株式運用チームは、グローバル・エマージング・マーケット株式運用チームのポートフォリオ・マネジャーと、マクロ・ストラテジストおよびアナリストで構成されています。グローバル・エマージング・マーケット株式運用チームのポートフォリオ・マネジャー(JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド所属)は、各地域の株式担当から情報の提供を受け、マザーファンドにおける投資判断を行います。株式担当は各地域のポートフォリオ・マネジャーとアナリストで構成されています。

上記は、JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッドを含めた「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの運用体制を記載しております。  
(注)上記マザーファンドの運用体制・組織名称等は、2010年12月末現在のものであり、今後変更になる場合があります。

## 「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの紹介

「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループは、世界最大級の金融持株会社であるJPモルガン・チェース・アンド・カンパニーの傘下にある資産運用部門です。

130年以上にわたる歴史を持ち、高い運用実績を誇る200以上の運用ストラテジーを世界の投資家の皆様にご提供しています。

世界各地に41拠点

約680名の  
運用プロフェッショナル

運用資産は約105兆円  
を誇り世界最大級

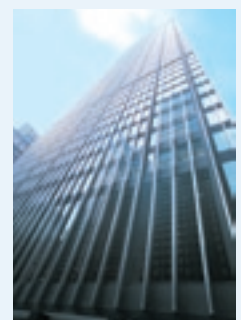
### JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーについて

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーは、ニューヨークに本社を置き、世界60カ国以上に営業拠点を持つ米国最大級の銀行を中心とする金融サービス会社です。  
米国を代表するダウ・ジョーンズ工業株価平均の構成銘柄として採用されており、総資産、収益力、時価総額などにおいても世界屈指の金融機関として高い評価を得ています。

#### JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーとグループ会社の格付け

	【ムーディーズ】	【S&P】
JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー(持株会社).....	Aa3	A+
JPモルガン・チェース・バンクN.A.(銀行子会社).....	Aa1	AA-

ムーディーズ:発行体格付 S&P:長期外貨建発行体格付 2011年1月末現在 出所:ブルームバーグ



2010年12月末現在(運用資産は2010年12月末の為替相場により円換算)

上記は、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよびその関連会社の発行する有価証券の推奨を目的として記載したものではありません。

## ご注意していただきたい事項について

- サンパウロ証券取引所、ロシア証券取引所、ボンベイ証券取引所、香港証券取引所、ヨハネスブルグ証券取引所のいずれかの休業日(半休日を含みます。)には、購入・換金の申込みの受付は行いません。
- 換金代金のお支払いは、原則として換金申込日から起算して7営業日目からとなります。
- インド株式を売却する際に売却益に対して課税されることがあります。その際、税金の費用計上が、保有期間で按分されることなく税額確定後に行われます。

## ファンドの主なリスク

**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。  
投資信託は元本保証のない金融商品です。**

ファンドは、主にBRICS5の株式に投資をしますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。

下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

### 株価変動リスク

株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。

### 為替変動リスク

ファンドは、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。

### カントリーリスク

BRICS5カ国は新興国であることから以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。

- ・ 先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、株式や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。
- ・ 株式・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。
- ・ 先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。
- ・ 税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。

## ファンドの諸費用について

### 直接的に負担する費用

- 購入時手数料 手数料率は3.675%(税抜3.5%)を上限とします。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
(購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込))  
自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
- 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に対して0.5%を乗じて得た額が換金時に差し引かれます。

### 信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.90%)
- その他費用・手数料
  - ・ 有価証券の取引等にかかる費用\*
  - ・ 外貨建資産の保管費用\*
  - ・ 信託財産に関する租税\*
  - ・ 信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用\*
  - ・ 純資産総額に対して年率0.021%(税抜0.02%)をファンド監査費用とみなします。  
ただし、年間315万円(税抜300万円)を上限とします。

\*ファンドの運用状況、保有銘柄、投資比率等により変動し、また銘柄ごとに種類、金額および計算方法が異なっておりその概要を適切に記載することが困難なことから、具体的に記載しておりません。さらに、その合計額は、受益者がファンドの受益権を保有する期間その他の要因により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

費用等の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載しておりません。

## お申込みメモ

- 信託設定日 平成17年12月28日
- 信託期間 無期限
- 決算日 毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 毎年1回の決算時に委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 購入価額 購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
- 購入単位 販売会社が定める単位とします。  
ただし、自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、1円以上1円単位とします。
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。  
換金時に手数料はかかりません。  
換金代金は原則として換金申込日から起算して7営業日目から、販売会社においてお支払いいたします。
- 課税関係(個人の場合) 課税上の取り扱いは、「公募株式投資信託」となります。  
平成23年2月末現在、普通分配金が配当所得として、換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)が譲渡所得として、それぞれ10%(所得税7%、地方税3%)の税率が適用され、課税されます。  
税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- 申込締切時間 原則として午後3時までとします。ただし、販売会社によっては受付時間が異なる場合があります。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(設定・運用等)
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
- 販売会社 岡三証券株式会社 他(受益権の募集の取扱い等、目論見書の提供場所)

## 金融商品取引業者等について

- 投資信託委託会社 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(設定・運用等)  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号  
加入協会:日本証券業協会、社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会
- 販売会社 岡三証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号  
加入協会:日本証券業協会

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客様が投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申し込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しますので必ずお受け取りの上、内容をご確認下さい。最終的な投資判断は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。